

# 9月定例教育委員会 会議録

日 時	平成29年9月13日（水） 午前9時30分～9時50分
場 所	9階会議室9-2
出席委員	平賀委員長・小宮山職務代理者・原委員・堀委員・長谷川教育長
出席事務局職員	小林教育部長・嶋田教育総室長・望月生涯学習室長・塩澤総務課長・松田学校教育課長・宮川学事課長・照沼教育施設課長・本田甲府商業高等学校事務長・碓井甲府商科専門学校事務長・田中生涯学習文化課長・飯田スポーツ課長・本田図書館長・村田総務課課長補佐・杉山総務課主任
傍 聴 人	
署名委員	
委員会書記	

・会議録署名委員の指名 原委員

・8月定例会会議録の承認 原案のとおり承認

平賀
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">原</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">小宮山</div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">堀</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">長谷川</div>

## 1 開会

### 平賀委員長

これより、9月定例教育委員会を開会します。

### (1) 教育委員あいさつ

#### 原委員

本年3月、息子が高校を卒業し、それと同時に私もある所を卒業しました。そこは、甲府市教育委員会の事業の1つである「家庭教育学級」です。子供が小学校1年生のときから12年間活動をしてきました。以前にも参加している事はお話ししましたが、今日は12年間の私個人の感想とそこでの様子をお話したいと思います。

「家庭教育学級」は、生涯学習文化課の事業で、市内各公民館において小学校1年生から高校3年生までの同じ学年の子供をも持つ保護者を対象に、各学年の学級ごとに出前講座や館外学習等を行っています。

私の学級では、ほぼ月1回、午前10時から2時間程の活動でした。年間各月の活動内容と月の当番・学級長を、4月の開級式の時に皆で相談して決めます。その時、公民館の使用する部屋を年間分予約します。調理室は人気で急いで予約しないとなかなか取れません。料理・陶芸・

ビーズ・寄せ植え・ヨガ・等々を体験学習しました。材料費は勿論実費で、帰りには「活動報告書」を公民館へ提出します。作成した作品は、毎年秋に行われる公民館のフェスティバルに出品し、地域の皆様にも披露します。全12学級の作品はなかなか見応えがあり、毎年とても盛況でした。

また、館外学習では、日銀甲府支店、YBS会館、裁判所、防災新館等々の見学学習をしました。各施設に「甲府市教育委員会の家庭教育学級です。」と申し込みますと、案内の方から丁寧に説明を受けながら見学する事ができました。特に防災新館では、全県の110番システム、市内の交通管制の状況など、大変勉強になりました。この様な施設の見学は、個人では中々かないませんし、親子対話の良い話題となりました。

作成や見学も貴重な体験でしたが、この学級活動の利点は、「同じ学年の子供がいる。」という共通項1つで歳の差が壁にならず、打ち解けられる仲間づくり、地域のコミュニティができる事でした。ちなみに私は最年長でしたが、5歳から18歳年下の方々とママ友になることができ、とても驚きでした。

そして、県外・市外から転勤や結婚を機に甲府に来られた方は、活動の合間におしゃべりをしてしながら、甲府のロコミ情報を得る貴重な機会となっていた様です。小児科などの医療機関情報や穴場の遊び場、お得なスーパー、安くて美味しいお店、また育児相談、お姑さんや近所の付き合い方等々…。また、3校合同でしたので、他の学校の様子も聞けました。

たとえ月1回・2時間程でも、忙しい日々の生活の中で何とか仕事や家事のやり繰りをして、皆さん積極的に参加しておりました。この貴重な時間の中で、楽しく、ちょっとストレス発散して、ちょっと心に余裕が感じられ、笑顔で皆さん帰っていかれました。

同じ学校や同じクラスでも保護者同士が会い、ましてや他校の方とも仲良くなる機会はほとんどありませんので、大変有効な場の提供であると思いました。

私達は3月の学級卒業後、名残惜しくてOB会を立ち上げました。上の学級の中にもそうしている方々がいるようです。

同じ学年の子供を育てた同志のコミュニティは、今後、子供の就職、結婚、孫、老後の相談等々生涯を通じて続いていけるのかなと期待しています。この家庭教育学級のお陰でそんな尊い仲間づくりもできました。

生涯学習振興事業は、この学級だけではありませんが、8月の定例教育委員会の議題第18号におきまして、検討委員会の事業評価結果では、唯一C評価（改善）でした。財政厳しい昨今ですが、多くの市民保護者の方に周知し、継続推進して頂き、保護者の笑顔や心のゆとりにも少しでも繋げて欲しいと思います。

前回、長谷川教育長の「間」の大切さのお話しの中で、教育現場にゆとりがないと、子供のSOSを見逃してしまう可能性があると同いました。家庭においても、話しかけてきた子供に「忙しいから後にして」ではなく「なあに」と耳を傾けられる心にゆとりある穏やかな保護者であることも大切であると思います。

家庭教育学級の卒業生としてこの事業に感謝申し上げまして、私の挨拶を終わります。

## **(2) 会議録署名委員の指名**

### **平賀委員長**

会議録の署名委員は、原委員を指名します。

### **(3) 会議録の承認**

#### **平賀委員長**

平成29年8月9日の定例教育委員会の議事録をご確認いただきまして、ご承認いただけますでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは決定いたします。

**【原案どおり決定】**

(教育委員会承認)

## **2 議事**

### **(1) 報告**

#### **平賀委員長**

報告 第11号 平成29年度全国学力・学習状況調査結果の概要について、資料に基づきまして、松田学校教育課長より説明をお願いします。

(松田学校教育課長より資料に沿って説明)

#### **平賀委員長**

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見・ご質問等ありませんか。

#### **小宮山職務代理者**

県平均の正答率について、小数点以下の数字が出ていませんが、文科省から送られる結果には、小数点以下の数字も示されているのでしょうか。

#### **松田学校教育課長**

正答率については、市の教育委員会に送られてくる結果も整数値となっております。同時に、膨大な資料の中には、正答数という小数点以下まで示されたものもあります。

#### **小宮山職務代理者**

文科省の方針なので仕方ないことですが、正答率を小数点以下の数値で出さない示し方について、賛成意見もありますが、異論もあるかと思います。小数点以下の数値を出すことがどれだけの意味を持つのか、私も疑問に感じるのですが、少なくとも、小数点以下の数字を出さないということは、順位付けを避ける方向に向いていると思います。

私の個人的な意見としては、競争環境があった方が、子ども達の意欲を掻き立てます。マイナスのリスクももちろんありますが、個別の中では、競争意識を持ってもらい、やれば成果が出るということを数字で見せるメリットにも期待したいと思っています。

#### **堀委員**

児童生徒質問紙調査の概要のところ、「国語・算数の学習は大切で好き」と回答している児童生徒の割合が全国を上回った反面、「回答時間が十分であった」と回答した児童生徒が少なかった

ということであれば、テストの回答を時間内にやりきれなかったことが点数に大きく影響していると感じます。時間内にやりきるという学校側の関わりが大切ではないかと思ったのですがどうでしょうか。

#### **松田学校教育課長**

B問題といわれる活用力を問う問題は、問題文にかなりの文章量があり、子ども達が一定時間で読み取る力、問題の処理速度の課題があるかと思います。やはり過去にも同じ様な傾向がありますので、学校には情報提供をして、取り組むようにしていますが、依然として課題に残っております。

#### **原委員**

以前から比べて、上回るとか平均以上という言葉が出てきています、先生方の努力が実ってきていることだと思いますので、感謝申し上げます。

この結果について、各学校間の差を数字で把握していると思うのですが、どのくらいの差があるのでしょうか。把握しているのであれば、なぜその学校の点数が高かったのか、なぜ低かったのかという問題点を押さえていかなければいけないと思います。もし教えていただけることがありましたらお願いします。

#### **松田学校教育課長**

学校間の差につきまして、状況を把握しております。100点に換算すると、大きく10ポイント近く上回る学校もありますし、逆にそれに近く下回る学校もあります。

経年的に分析しますと、規模の小さい学校では、年度ごとによって上回ったり下回ったりしたり、一部には、外国籍のお子さんが多い等、特別な地域環境にある学校は厳しい状況にあります。

#### **平賀委員長**

他に何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは原案のとおり確認いたしました。

【原案どおり確認】

(教育委員会確認)

### **3 閉会**

#### **平賀委員長**

それではこれもちまして、9月定例教育委員会を閉会します。